DX 推進室通信 No. 13

Power Automate 入門(2) Excel ブック内のデータの読み込み

今回は Power Automate のフローで Excel ブック内のデータを利用する方法を紹介します。これをするには、ブック

内の利用したいデータ範囲をテーブルにしておく必要があり ます。今回最終的に作成しようとしているフローで必要なデ ータはメールアドレスです。Excel を起動し、セル AI に見出 しとして「メールアドレス」と入力し、セル A2 以降にいくつか 実在する ICT 教育基盤センター発行のメールアドレスを入 力し、図 I のようにテーブルにしておきます。フローで利用す るブックは OneDrive か SharePoint サイトに保存されてい る必要がありますので、ここで作成したブックを今回は OneDrive に保存しておきます。なお、Microsoft Teams の チームの「ファイル」に保存してあるファイルは SharePoint サイトに保存されているので、チームの「ファイル」に保存して あるブックも Power Automate から利用できます。

それでは、前々回作成したフローを編集し、ブック内に記載 されている人しか見ることのできないファイルを作るフローに 変更していきます。前々回のフローを保存していない方は、 前々回の通信を見返して、「フローを手動でトリガーする」を トリガーとして設定したフローを作成してください。

前々回作成したフローの編集画面を表示し、「フローを手 動でトリガーする」トリガーの下にブック内のテーブルデータ を取得するアクションを追加します。ここで追加するアクション は、「Excel Online For Business」セレクタ(図 2)の「表 内に存在する行を一覧表示」アクション(図 3)です。このア クションがブック内のデータを読み込むためのアクションにな ります。このアクションには設定項目が4つあります(図 4)。 「場所」はブックの保存されている場所の設定です。図 4 赤 枠内をクリックすると、設定可能なサイト一覧が表示されま す。今回はブックが OneDrive に保存されているので、 「OneDrive for Business」を設定します。チームに保存さ れているファイルであれば、そのチーム名をここに設定しま す。「ドキュメントライブラリ」はドキュメントを設定します。「ファ イル」は OneDrive に保存したファイルを設定します。「テー ブル」は入力欄をクリックするとファイルで設定したブック中 のテーブルー覧が表示されるので、メールアドレスデータが 含まれるテーブルを設定します。このように設定すれば、ブッ ク内のデータをフローで利用できるようになります。

今回はここまでです。次回はブックに登録されている人し か見られないファイルを作る方法を紹介します。

		Α		
1 メールアト	ドレス	▼		
2 💶 🖬 🕼 dau	ecc.a	aichi-edu.ac.jp		
3 ■ ■ @auecc.aichi-edu.ac.jp				
4 r ∵∵∵ @auecc.aichi-edu.ac.jp				
5 State	cc.ai	chi-edu.ac.ip		
	义	1		
アクションの追加			×	
)) / 」 / い起加				
検索				
ランタイム				
ランタイムを選択する	~			
(In-app)	0	Premium	0	
_				
Control	i	Excel Online (Business)	(i)	
(In-app)	_			
Excel Online For Business	(i)	Microsoft Dataverse	(i)	
		Premium		
Microsoft Dataverse	i	Microsoft Forms	i	
Premium				
	Ŋ	2		
	즈	2	_	
アクションの追加			\times	
← 検索に戻る				
Evcal Online For Rusing	0.55			
	633			
SharePoint ライブラリからスクリプ	トを実行す	5	(i)	
スクリプトの実行			(i)	
ロークシートの取得				
ワークシートの知知			U	
行の更新			(i)	
行の削除			i	
行の取得			(i)	
表内に存在する行を一覧表示			(i)	
102001 117-12441		•		
	凶	3		
				"
础 衣内にけたりる灯で一覧衣示			: <	k
パラメーター 設定 Codenion	テフト	信報		
BOAE COME VIEW	ZAP.	17270		
場所*				
OneDrive for Business			\sim	J
ドキュメント ライブラリ*				1
			~	
ノアイル* 			P	
テーブル1			~	
				J
	N	4		